

26川企臨国第375号  
平成27年2月9日

公益財団法人 日本野鳥の会 様

川崎市長 福田 紀彦



羽田連絡道路の意見書について（回答）

日頃から市政に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成26年11月17日付けの意見書について、御回答いたします。

羽田連絡道路につきましては、本市において進めているライフサイエンス分野を中心とした研究開発機関等を集積する国際戦略拠点の殿町キングスカイフロントと、羽田空港を直接つなぐことにより同地区の評価・価値を高めるとともに、研究活動などの活性化により新たな産業が創出されるなど、我が国の持続的な経済発展の実現に向けた重要なインフラであると考えております。

さらに、災害時の避難経路の多重化等により、防災力の強化にも繋がるなど、市民生活の面からも大きな効果が見込めることから、国に対しても早期具体化に向けた取組の推進を求めてきたところ、国において「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」が設置されたことにより、今後は羽田連絡道路等の整備に向けて環境への配慮も含め、ルート・構造等について関係機関とともに議論を進めることになると考えております。

また、生物多様性保全エリアを整備することにつきましては、現在のところ検討しておりませんが、今後は、環境に係る現地調査を十分に行い、事業が自然環境に与える影響も検証しながら、取組を推進してまいりたいと考えております。

総合企画局臨海部国際戦略室 大山

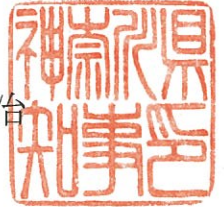
電話（044）－200－3594



平成 27 年 2 月 9 日

(公財)日本野鳥の会 様

神奈川県知事 黒岩 祐治



「羽田連絡道路の建設に対する意見書」について (回答)

日ごろから県政に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成 26 年 11 月 17 日付け「多摩川河口干潟に影響を及ぼす羽田連絡道路の建設に対する意見書」の御意見について、県に関わる要望について回答いたします。

○「羽田連絡道路の建設に反対」について

本県では、国際戦略総合特区の制度を活用して、京浜臨海部にライフサイエンス分野等のグローバル企業を集積し、国際戦略拠点の整備を図るなど、羽田空港の国際化を活かしたまちづくりを進めており、加えて、平成 26 年 5 月には、国家戦略特別区域の東京圏に本県全域と東京都の一部などが指定され、一体的な取組が期待されています。

連絡道路の整備につきましては、これらの取組を一層加速させるとともに、東京・神奈川の連携強化を図る上でも大変重要であることから、国に対し、早期具体化を図るよう要望しているところです。

連絡道路のルートや構造は、まだ決定していませんが、今後、関係機関により、多摩川の自然環境への影響も含めて、総合的に検討していくことになると考えています。

○「生物多様性保全エリアとして整備すること」について

県として、多摩川河口干潟を自然環境の体験、観察、研究ができるような場所として整備することは考えておりませんが、市町村などと連携し、生きものの情報収集や干潟などのさまざまな自然環境が果たす役割の周知に努めてまいります。

問い合わせ先

連絡道路全般に関する部分について

政策局自治振興部地域政策課京浜臨海部グループ 高德・石渡

電話（０４５）２１０－３２５５（直通）

連絡道路のルート・構造等に関する部分について

県土整備局道路部道路企画課京浜臨海部基盤整備グループ 小林・吉田

電話（０４５）２１０－６４１０（直通）

生物多様性保全エリアに関する部分について

環境農政局水・緑部自然環境保全課緑地グループ 五十嵐・岩岡

電話（０４５）２１０－４３１０（直通）